

「人は見た目が9割」

おはようございます。

先週の土曜日・日曜日はぼかぼかと暖かい陽気で過ごしやすかったですね。秋のこの時期の春のような陽気を「小春日和（こはるびより）」と言います。今週は、本格的な冬に向けてかなり気温も下がるようです。風邪など引かないように健康には十分注意しましょう。

さて、先週の金曜日の夜、自宅の本棚を整理していたとき、昔読んだ一冊の本が目にとまりました。その本の題名は「人は見た目が9割」（竹内一郎著：新潮新書）。今から5年前に買った本ですが、おもしろい本の題名について衝動買いをしてしまった記憶があります。

「人は見た目が9割」？「人は見た目じゃないよ、中身だよ」と教えられたよという人もたくさんいると思います。もちろん、人は「見た目」だけで判断するのは良くないし、「中身」が重要であることはいうまでもありません。

しかし、普段の生活の中で初めて会う人の印象は、大きいものです。例えば、約束した時間に遅刻してきたり、服装がだらしなかつたり、言葉遣いが乱暴であつたりしたら、その人がどんなにすばらしい中身をもっていたとしてもその人のすばらしさを感じることはなかなかできないでしょう。

この本の中にはこんなことが書かれています。人が他人から受けとる情報の割合は、「見た目・身だしなみ・仕草・表情」が55%、「声の質・声の大きさ・話すテンポ」が38%、「話す内容」7%だそうです。やはり、人間が社会生活を送っていく中で、他の人とうまくコミュニケーションを図っていくことが大切で、第一印象である「見た目」もその重要な要素であることには違いありません。

本校の基本的な生活習慣のモットーに「あ・じ・み・こ・し」があります。「人にきちんとあいさつができる」「常に時間を守ることができる」「きちんとした身だしなみである」「その場に応じた言葉遣いができる」「姿勢よく、物事に前向きである」、このことは、人として身につけるべき大変重要な要素として、みなさん一人ひとりが日々の生活の中で身につけていきましょう。

現在、3年生は進路面接の練習に入っていますが、「見た目」が良くない場合は、面接の上では不利な条件になってしまいます。相当頑張って説明しても話の内容や熱意は伝わりにくいものです。まず、第一印象で重要である「見た目」をもう一度見直してみましょう。

このところ、朝や帰りに大きな声で元気にあいさつをしている生徒が増えてきているように思います。生徒も先生もみんなが楽しく明るい学校生活を送ることができるように「あ・じ・み・こ・し」を実行していきましょう。また、今週末には定期考査3があります。自宅学習や向島ゼミナールで計画的に復習をして試験にそなえましょう。